

令和4年度 事業報告書

特定非営利活動法人ハニー・ビー

I 事業期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

II 事業の成果

令和4年度(2022年度)においても、3年を超えるコロナ禍が収まらない中での活動となりました。学校行事の縮小に関しては公共施設の利用制限、行動自粛等の要請も昨年度までよりは緩和されましたが、事業自体を制限される中で実施のやり方を考えての活動が続きました。コロナ禍で改めて学んだ感染症予防の観点から、新型コロナウイルス感染症以外の感染症に関しても、職員が一丸となって困難な状況に立ち向かい、感染防止に努めて活動することができました。また、コロナ禍前と比べるとリアルにふれあう場が少なくなり、「人との繋がり大切さ」を痛感することになりました。人生のあらゆる場面において、社会の中で他者とつながり、助け合いながら生活をするということは非常に重要です。当法人の理念である「障がいがあっても社会参加は当たり前」「みんなにやさしい共生社会の実現」を合い言葉に、将来の自立(または自律)に向けてどのような形で実践していくのか、また当事者、保護者ともどのような形で寄り添えるのかを考えて活動をしました。そして、それぞれの事業所において、「役割を持って生きる」ことが大切ではないかと考えて創意と工夫を凝らしました。就学中のうちから個々人の特性を踏まえた自立(自律)に向けての療育支援をはじめ、ハニー・ビーにしか出来ない親亡き後を見据えての支援を各事業で実施しました。

今年度も放課後等デイサービス事業に関しては、豊中市においても沢山の事業所が乱立する中で、2010年5月に豊中市で民間初の放課後等デイサービス(当時は、児童デイサービスⅡ型)を立ち上げた当初からのわたしたちの経験を体験値という力にして、ご家庭・学校それぞれの間をミツバチが花から花へと飛び、蜜を集めるように関係性を紡いでいく中(文部科学省がめざす、トライアングル構造)で、障がいのあるなしに関わらずお互いに寄り添いながら『地域社会で生きる』ことを目指していけるよう、サービスの充実を図りました。

マイ児童デイサービス(そね)では、小学生を対象に(中学生含む)今年度も『生活する上での基本動作の習得』を目標に掲げて活動しました。今は難しくとも、将来を見据えて「こうあってほしい」という思いや「親亡き後も社会の中で生きていくために」という考えのもと、小さな集団療育でのプログラムから将来への生きる力を養っていくものだと思っています。様々な工夫を凝らして、少しでも子どもたちが「楽しい。」「またやってみたい。」と興味や関心の幅が広がるプログラムを考えました。

マイ児童デイサービス(はっとり)では、知的・発達障がいのある中学生から高校3年生を対象に、コロナ禍における感染防止対策を講じて、将来の社会参加(特に就労)を見据えた支援に重きを置いて取り組みました。「あいさつ」や「ハウ・レン・ソウ」を常に意識し、コミュニケーションをとりながら自己表現できることを目標としました。それぞれの利用者に対して掲げた個別支援計画を、複数指導員の目でチェックし、「どうしたらできるか」を幾度も話し合い、グループ療育と個別療育(自立課題)それぞれについて、毎日のプログラムと週間プログラムに修正を加えながら、更なる変化をつけて対応していきました。

他の事業所との違いを明確にしつつ、豊中市で最初の民間事業所として誇りを持って、『将来を見据

えた充実した療育支援の場、安心して活動出来る場』としてのサービスの提供に力を注ぎ、利用者様の保護者アンケート結果でも概ね高い評価を得ることが出来ました。

それぞれの事業所では、ご利用者さんに関しての「気になったことや小さな事故や気付いたこと」も保護者への連絡や報告を心がけました。豊中市内でも多くの事業所がある中で、他の事業所との違いを明確にしつつ、「当事業所を選んできていただいた」ことに責任を持って、『それぞれの事業所に関わる利用者さんの将来を見据えて、安心して活動出来る場』としてのサービスの提供に注力しました。

ハニー・ビー ジョブでも、コロナ禍の中での活動となり、感染防止対策など様々な工夫をし、苦慮しながらも利用者さんに対応しました。例年開催される「地域のお祭り」なども、今年度もコロナ禍の影響で中止となることもありましたが、一部規制が緩和され、少しずつコロナ禍前の状況に戻りつつあります。内職などの受注作業では、コロナ禍の影響が未だ強く、部品の生産工場の停滞をはじめ、原料の高騰や仕入れ難などにより受注が難しい状況ではありましたが、有り難いことに、何とかお仕事をいただき、多くの利用者さんに活動の場を提供することが出来ました。利用者さんにも「働意義」や「自分の役割」を果たすことで、仕事に対する素地が出来ているように感じています。今年度も「みんなに出来る仕事作り」を念頭に置いて、個々の障害特性に応じた治具(じぐ)などにも工夫を凝らし、みんなで同じ仕事が出来ることから「僕にも(わたしにも)出来る。」という自信を培いました。

また、相談支援センターハニー・ビーでは今年度も『親亡き後』の将来を見据えて「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」に基づく一般相談支援事業と「児童福祉法」に基づく障がい児相談支援事業の充実を図りました。一人ひとりに丁寧に向き合える関係性作りから、利用者とその保護者のニーズや困りごと、また漠然とした不安を聞き取る(傾聴する)場面を大切にしました。当事者の方を真ん中に「学校(教育機関)」「事業所」との関係性を強固なものにするために、学校(教育機関)と事業所での困りごと、課題解決のために訪問の機会を持ちました。主に学校(教育機関)に関しては、支援教育と療育支援とのジレンマを感じながらも現状把握からの行動を変えていく大きなための役割を果たすものだと実感しました。引き続きアプリコット介護サービスでの個別支援やマイ児童デイサービスでの小集団での支援と連携することによって、更なるサービスの質の向上を図りました。

アプリコット介護サービスでは、『ご利用者さんにとっての寄り添うサービスの提供』とは何かを探索しつつ、サービスを提供することは勿論ですがイメージすることが難しい『将来』を、ご利用者さんや保護者の方々と一緒に考え、助言や提案から信頼の礎作りを心がけました。提案すること自体が、ご利用者さん、ヘルパー双方にとって少し負担になるかもしれないですが、サービスの在り方に『頑張る、諦めない姿勢』が見られました。「そんなこと、(うちの子に)出来る訳がない。」と消極的だった方々も、少しずつですが変化が見えてきて、「もしかしたら出来るかも」という『将来への希望や自信』に繋がる体制作りをしました。

NPO 事業では、法人としての目標として掲げている『地域の方々に愛される法人』をめざして、今年度も「人との繋がり」を大切に活動を展開しました。

2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となってしまった宿泊体験ですが、2022年度の『第13回サポートが必要なこどもたちとの宿泊体験 IN 淡路島2022』は、コロナ禍ではありましたが開催することができました。直前に急増したコロナ陽性者数に開催するかどうか悩みましたが、参加者全員に PCR 検査を受けていただき、当日までの体調チェックをはじめとした感染対策を実施して、無事に宿泊体験を終えることができました。なお、この事業は独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成活動事業として実施しました。

『第6回サポートが必要な子どもたちとの料理教室』も、コロナ禍での活動となりましたが、感染防止対策をしながら毎月1回(年間計6回)開催し、ボランティアさんも含めて延べ130名の参加があり、コロナ禍でも「自分たちの体験値を積み重ねる」という目的で、サポートが必要な子どもたちが自信を持って活動することに、また人との関わりが楽しいと思える場所が提供できたことは一番の成果だと思っています。無事に食中毒や怪我もなく終わられたことに安堵しています。

2012年より毎年開催しております、障がいのあるなしに関係なく「であい・しりあい・わかりあい=3あい(みつつのあい)」の大切さを地域と共有するイベント『第11回みんなでワイワイさんあいイベント』は、11月4日の豊中市役所中心に広報を行った子ども広報部活動に始まり、11月13日のイベント当日はあいにくの荒天でしたが豊中市服部西町のふれあい緑地の芝生広場でコロナ感染対策を講じつつ開催し、当日までに沢山のエントリーをいただいた子ども店長や多くの来場者(主催者発表1000人)もあり、雨の中でも子どもたちの元気な笑顔とエネルギーにあふれたイベントとなりました。なお、この事業は積水ハウスマッチングプログラムの助成を受けて実施しました。

ハニー・ビーでは、毎年度当初に開催される全体会議で理事長から今年度の活動基本方針及び今年度の目標として、「ハニー・ビーの活動を進めるにあたって」を全職員に示し、それぞれの役割を担って「全職員が楽しく働ける環境作り」を掲げました。

研修等に関して、今年度も特定非営利活動法人として、『地域共生社会の実現』をめざしてなど、働くことに生きがいややりがいを実感できるような環境を整備して、障がい者福祉に長く関わり(働き)続けてもらえる人材の育成に取り組みました。

法人設立当時のミッション『障がいがあっても社会参加は当たり前～みんなにやさしい共生社会の実現～』をめざして活動を続けてまいりました。

Ⅲ 事業実施の状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 事業区分「障がい者(児)の自立・就労の意義」に関する講演会、勉強会、見学会

【事業名】 実習・見学会事業

【事業内容】 今回の見学では、実際に障害のある方の働く姿やサポート体制を見て、将来、自分が働けるイメージを膨らませ、また支援を担当する職員さんから共に仕事を進める中での思いなどをうかがいます。

【実施場所】 ・兵庫県西宮市 阪神友愛食品株式会社(生活協同組合コープこうべの特例子会社) 及び コープこうべ鳴尾浜配送センター3階 株式会社ゆうあいサポート

・大阪府豊中市 生活協同組合コープこうべ東豊中店

・兵庫県尼崎市 株式会社 JR 西日本あいウィル (JR西日本の特例子会社)

・大阪府中央区 大阪府庁公館

・大阪府豊中市 豊中市環境部公園みどり推進課ふれあい広場 SEED

【事業対象者】 マイ児童デイサービスはっとり、就労継続B型事業所の利用者、家族、指導員など

【活動報告】 今年度は、昨年度よりも見学などの受け入れ規制が緩和されたこともあり、実習や見学を実施することが出来ました。

(2) 事業区分 療育支援事業

(ア)【事業名】 就労支援プログラム(トレーニングジョブ=トレ・ジョブ)事業

【事業内容】 本事業は、主に知的・発達障害のある子どもたちと就労体験が出来るところをマッチングし、サポーターと共に地域での草の根的な支援者、事業者への理解を深め、また当事者も体験値を培う就労プログラムです。

【実施時期】 通年随時

【実施予定場所】 (学)育保学園 (熊野田幼稚園、くまのだ保育園)

【事業対象者】 就労(社会参加)をめざす方々

【活動報告】 今年度はコロナ禍の影響もあって中止となりました。

(イ)【事業名】 宿泊体験事業

【事業内容】 本事業は、独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の助成を受けて、【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと、第13回目となりました。サポートが必要な小学4年生から18歳までの25名が、保護者と離れて様々な体験をする中でルールやマナーを学び、仲間との連携、達成感などの体験値を高めるための宿泊体験を行ないました。自然の中での体験を通じて、グループ活動をする際にチームワークの大切さなどを学びます。またサポーター(ボランティア)も日頃あまり出逢うことのないサポートの必要な子ども達(チャレンジャー)との関わりから理解や意識も変わっていくことに繋がればと企画しています。

【実施予定時期】 令和4年7月23日(土)~24日(日)

【実施予定場所】 兵庫県南あわじ市 じゃのひれリゾートなど

【事業の対象者】 チャレンジャー・サポーター合わせて 36名

【収益】 909,251 円(うち助成金 603,251 円含む)

【費用】 1,066,188 円

【活動報告】 今年度は、昨年度中止のリベンジの意味もあって年度当初より「開催したい。」という気持ちを強く持って取り組みました。しかしながら直前に大阪府のコロナ感染陽性者数が急増したこともあり、参加者全員にコロナ陰性証明書をお願いし、出発までに濃厚接触者も出ましたがチャレンジャーにサポーターをマンツーマンでつける体制を整えて無事に終了しました。

(ウ)【事業名】 地域連携事業

【実施内容】 本事業は、今年度は積水ハウスマッチングプログラムの助成を受け、【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと、服部西町にあるふれあい緑地の芝生広場を会場に第11回目の開催となりました。今年も、コロナ禍での開催であるため、感染防止対策を徹底し万全の対策を講じて開催しました。

本イベントは、「であい・しりあい・わかりあい」の3つをテーマに、3つの目的を持って開催しています。1つ目は、地域で生きる人たちがそれぞれの「相互理解を図る」という趣旨に基づいて、障害のあるなしに関わらず、地域の皆さまとの出逢いの場を提供し、3つの「あい」=『さんあい』を共有していただくお手伝いをさせていただきたい。2つ目は、社会参加の機会が少ない障がいのある方や子どもたちに、イベントやこども店長体験などの活動に参加できる場を提供し、自信を付けたり、社会との繋がりをを感じる機会を作りたい。3つ目は、地域のサークル等でパフォーマンスの練習はしているけれども、なかなか発表の機会がないという子どもたちの為に、笑顔いっぱいのパフォーマンスが出来るステージを提供し、活躍できる場を作りたい。以上3つを目的に、2012年より毎年開催しています。

【実施時期】 令和4年11月13日(日)10時30分から15時35分

【実施場所】 豊中市服部西町 ふれあい緑地

【事業の対象者】 市民など 1,000名程度

【収益】 963,902 円 (うち助成金 300,000 円・寄付金 407,300 円
・協賛金 96,000 円)

【費用】 1,325,878 円

【活動報告】 今年度も、コロナ禍の感染状況を見ながら活動をしました。子どもたち中心の子ども広報部は、例年通りの活動とはなりませんでした。豊中市役所を中心にご対応いただいた豊中市長、教育長をはじめ、職員の皆さんには、実際に「子ども広報部員」を通じてハニー・ビーの姿勢を感じていただけたと思っています。心温まる対応をいただき広報部員も「市長とお話が出来た。」と大喜びで大きな自信になったようです。近隣の小学校と住民の方々へのチラシ配布にもご協力をいただきました。また資金面でも多くの方々から協賛金を頂戴出来たことは、わたしたちにも大きな自信となりました。

また、今回から「こども店長」の参加申し込み QR コードを使用し、ホームページ上で受付するという方法に変更しました。参加者はもちろん、運営担当者からも利便性が上がったと好評でした。

雨の予報で開催が危ぶまれましたが、「子どもたちの笑顔」の為に、「何としても、子どもたちが活躍できる場を作りたい。」という気持ちが強く、色々な方にご協力いただいているなかで準備を進めていたこともあり、できる限りのことをしようという思いで開催を決定しました。

開催日当日は、予報通り、あいにくの雨となってしまいましたが、予想以上の来場者があり、雨の中でも子どもたちがステージでの発表や「こども店長」にチャレンジし、キラキラとした笑顔でイベントを楽しんでくれている様子を見ることができました。

コロナ禍ではありましたが、皆さんからの「やって良かった！」というお言葉で、「さんあいイベント」の目標を達成することができホッとしました。回を重ねるごとに輪が広がり、ハニー・ビーとしては、近隣地域の人をはじめ、多くの皆さんのご協力をいただき「地域のお祭りだから協力するよ。」と力強い応援をいただけたことが、成功につながったのだと思います。

年々賑わいと共に地域の皆さんとの関わりが深まり、今回も、市職員の皆さまには「はたらくるま」や「フードドライブ」にご協力をいただき、また地域の防犯委員さんにはボランティアとして会場警備を担っていただきました。今回も豊中南警察署からパトカー(白バイは雨天のため中止)、豊中南消防署からは消防車を、「はたらくるま」として展示していただくと同時に、最後には雨の中ではありませんでしたが、急遽ステージで火災予防啓発のためのパフォーマンスダンスもご披露いただき、会場を沸かせていただきました。荒天での開催となりましたが、1,000余の方々の来場をいただき無事に終了しました。

(エ)【事業名】 支援が必要な子どもたちとの料理教室事業

【実施内容】 本事業は、今年度は自主事業として実施し、【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと、今年で第6回目となりました。サポートが必要な子どもたち自身が、保護者以外の料理サポーターをはじめとしたボランティアの人達と関わりを持ちながら、「料理を作る」楽しさを感じ、経験値を高め、日常生活の自信につながることを目的としています。

【実施時期】 令和4年5月28日(土)から11月26日(土)までの間、計6回

【実施場所】 ハニー・ビー 事務局ほか

【事業の対象者】 参加者、ボランティア併せて延130名

【収益】 61,400 円

【費用】 63,860 円

【活動報告】今年度もコロナ禍での活動となり感染予防対策を行い、多くの子どもたちが参加しました。自分でも作れる昼食をイメージして、料理を自分で安全に道具を扱い、全員が何らかの形で役割を持てるように心がけて、ボランティアさんの助けを借りて開催しました。

このような体制の中でも「他人(ひと)のために役に立つ」ことを実感し、「料理って、楽しいよね!」「お家でも作ってみる!」と前向きな発言が多く聞かれました。ボランティアの皆さんも障がいある子どもたちの無限大の可能性を改めて実感し、分かり合える場が出来ました。

(3) 事業区分 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

(ア)【事業名】 居宅介護・重度訪問介護事業

【事業内容】 本事業では、知的・発達障がいをはじめ様々な障がいのある人と子どもたちへの身体、生活介護や通院時の付き添い、家事援助などの支援を行ないます。また、利用者本人の力を引き出せるように、様々な場面でのお手伝い、自立に向けて支援をしていきます。寄り添うことを心がけ、利用者本人と保護者のニーズに合わせたサービス、将来の社会参加を目指してのサービス、また保護者のレスパイトケア(一時休息)的役割も果たすべくサービスを実施します。

※以下、移動支援事業と同じ

【実施場所】 豊中市など

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】【費用】 下記(4)に、(3)(4)事業を合算し報告

【活動報告】 下記(4)に、(3)(4)事業を合わせて報告

(イ)【事業名】 就労支援事業(就労継続支援B型)

本事業では、就労支援事業所ハニー・ビージョブにおいて、障がいがあっても自立(自律)した生活が営めるように様々な知識やスキルを一人ひとりのニーズに添ったプログラムで一緒に考えて活動をしています。

「はたらく」=作業(お仕事)を通して自立・自活に向けて生活の質や豊かさを感じられ自己実現に繋がり、その中で社会性や社会生活スキルの習得、またメリハリという意味では、余暇活動や利用者会議の開催など積極的に取り組みマンネリ化しないように、利用者さん同士のコミュニケーション醸成の場としても力を入れています。

作業(お仕事)での自主製品作りでは、現在商品として紹介している季節のリース、マグネット、アロマストーンの他にもヘアアクセサリーや多肉植物・観葉植物の寄せ植えなども行っています。

また、ハニー・ビージョブ独自の生産販売活動として、地域の商店や企業のお勧め商品を地域の皆さんの自宅や事業所にカタログを配り、注文いただいた商品の宅配と販売を通じお客様と関わる事で、社会性やコミュニケーションスキルを体得し、地域で当たり前に行えるためのスキルを学んでいます。

【令和4年度 ハニー・ビー ジョブ 主な事業と行事】

月	主 な 行 事
5月	ふれあい緑地フェスティバル販売
6月	安全衛生研修(熱中症予防について)
7月	安全衛生研修(防災ビデオによる地震避難方法について)

8月	豊中まつり販売・余暇支援(施設内でのビデオ映画鑑賞)
9月	安全衛生研修(コロナ対策・エアロゾルについて)
10月	服部ハロウィン販売・南部フェスティバル販売 コープこうべ職場体験実習・防災クッキング・余暇支援(芋ほり)
11月	さんあいイベント販売
12月	地震避難訓練・クリスマス会
1月	初詣(豊中稲荷神社)・余暇支援(施設内でのビデオ映画鑑賞)
3月	ひまわり祭り・普通救命講習会
毎月	毎週水曜日⇒野菜販売、第2第4は野菜の宅配、焼き芋の販売 第4月曜日⇒利用者会議、青年教室(豊中市教育委員会補助事業) 軽運動・ストレッチ体操 パン販売⇒吹田支援学校・摂津支援学校 (以上定期的に実施)

(イ)-1【ハニー・ビージョブB型】

【事業内容】 法人の掲げている「みんなにやさしい共生社会の実現」への思いとして、障がいがあっても社会参加は当たり前、地域で生きていけるよう、また自己実現できるよう、主に知的・発達障がいのある人を対象に、『はたらく』ことを通じて社会の一員として『自分らしく働ける』『就労をとおして、人生を輝かせよう』との思いを持って、様々な活動と体験の機会を通して、人との関わりの楽しさ、社会性を養う支援を行います。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 37,354,280 円

【費用】 40,703,484 円

【活動報告】 今年度も当初から新型コロナウイルス感染拡大防止を継続しながらの活動となりました。新しい対策としては送迎時に利用者さんの検温と消毒を実施するとともに窓を開けて車内換気に努めました。施設内におきましては昨年度から引き続き「低濃度オゾン発生装置」の活用と換気、ドアノブ等共用部分の消毒を徹底しました。利用される方には、「うがい・手洗い・検温」を確実に実施しました。作業や昼食時は3密を避けるため1階と2階に分散するとともにシールドを設置するなど感染防止に努めた結果、これまでと同様に継続した開所ができました。

今現在の利用者のニーズ、保護者のニーズまた社会情勢なども勘案しながら、利用者の知識習得やスキルアップにも店頭販売の機会や宅配に行くことで、実際の人と人との関わりの中からのコミュニケーション力がついてきているように思います。通所されているメンバーの「次のステージ」を考えながら、実際に利用者を主役において『障がいがあっても自分らしく働ける』ことを、色々なところで示し、諦めないで自信を持って地域に根ざして『障がいがあっても自分らしく働ける』ことを示していきます。

今年度末の利用者数は、定員の20名に対して17名となりました。次年度4月にも1名の退所が予定されており在籍者が16名と定員を下回る状況です。

【令和4年度 利用者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
在籍者数	20	20	20	21	21	20	20	20	20	19	18	17	236
開所日数	21	22	22	21	21	22	21	23	20	20	20	23	256
延利用者数	345	352	380	360	320	353	365	367	276	299	285	294	3,996

(イ)-2【就労支援生産販売収益活動】

【事業内容】 ハニー・ビーJOBでは、毎日コンスタントに障がい者が6時間働き続けられる環境づくり、仕事づくり、その他関連する管理業務などを推進し、障がいのある人たちに出来るお仕事を探求しています。

障がいのある人たちは働けないのではなく、「精神障害の人は短時間しか働けない」「知的障害の人には仕事は無理」などの周囲の偏見から、働くことを諦めてしまうことが多くあります。

しかしながら、利用者を見ていると店頭販売などで働き色々な体験値を積むことで、時間はかかりますが『自分で出来る』ようになります。その姿を見て、周囲の人の意識が変わる場合も多々経験してきました。

また、将来の就労に向けて作業スキルの向上を図るため、様々な「受注作業」を経験したり、施設外での安全意識を高めるとともに体力づくりを兼ねて「ポスティング」作業を実施しました。今後も、自主製品の製作や地元企業を中心に特色ある商品の店頭販売や宅配活動を通じ、利用者に就労の機会を提供し、特性に応じた知識や能力の向上を目指し、働く事の達成感や満足感と、生産販売活動に従事した内容に応じた工賃の支給を行います。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 ハニー・ビーJOB就労継続支援B型の利用者

【収益】 4,003,977 円

【費用】 3,891,401 円 <<内訳>> 売上原価 2,215,611 円

生産販売管理経費 1,675,790 円 ※1

(※1)うち利用者工賃支給額 1,570,730 円(一人平均月額工賃支給額 6,650 円)

【活動報告】 今年度もコロナ禍の影響により宅配や販売が減少した年でしたが定番の八木屋宅配や店頭での野菜販売など根気強く活動を継続しました。

自主製品の新規開発については、羊毛フェルトを材料にした「ワンニャンキーホルダー」やコロナ対策にも活用できる「マスク&メガネストラップ」などを販売し好評を得ました。

受注作業については、「クリアケース」や「カムカムキャンデー」も定期的に発注をいただきました。「タオル商品」もスタートから二年を経過し各工程でのスキルが向上し高品質な商品づくりが出来ました。

「ポスティング」については、お掃除本舗さまのチラシや公民分館さまからお仕事をいただきました。また、新たにアマゾン商品の受注作業を契約し徐々に売り上げを伸ばしています。

昨年度に公益社団法人「24時間テレビチャリティー委員会」より冷凍冷蔵車を寄贈していただきましたが、冷凍冷蔵装置を活かした事業を展開することが難しく来年度の課題として取り組むこととしました。

今後も生産販売活動の拡充を図り、利用者工賃支給額のアップを目指していきます。こうした取り組みを通じ、ハニー・ビーJOBの地域での認知度も増し、

地域の方々に販売活動を通じて働く利用者と接する機会を持つことで、お互いのマイナスイメージが払拭され、更に言葉を交わし触れ合うことによって、障がい者に対する意識も変わってきていると実感しています。なお生産販売活動状況は下表のとおりです。

【生産販売活動の対象製品と受注作業】

自主製品の製作	コンビニ弁当用エコバッグ、スイーツマグネット・スイーツクリップ、マグネットシートセット、竹炭消臭セット 多肉・観葉植物の寄せ植え、季節のリース、季節の飾り物、ヘアークセサリー等々、企業用オリジナル販促グッズ、オリジナル商品製作等
主な販売品	パン、シフォンケーキ、チーズケーキ、手包み餃子、野菜、レギュラーコーヒー、米、りんごジュース、リンゴジャム フラワーアレンジメント、洗濯用品など
受注作業	カムカムキャンデーの袋詰作業、クリアケースの一部加工作業、ポスティング作業、タオル商品の製作作業 アマゾン商品袋詰発送作業

【販売活動「八木屋」状況】

販売場所等	販売品等	個所回数
豊中駅構内 なかまの店 (豊中市福祉の店「なかま」)	自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャムなど	4回/年
地域福祉活動支援センター	自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャムなど	中止
ハニー・ビー ジョブ店頭販売	主として野菜、焼き芋、漬物、自主製品、 多肉・りんごジュース&ジャム	4回/月
八木屋宅配活動	やさい・パン・チーズケーキ・餃子など	約35軒/月
各支援学校	パン販売・リンゴジュース&ジャム	摂津10回/年 吹田11回/年
豊中市厚生会幹旋販売	お正月用リース・自主製品	1回
豊中市社会福祉協議会	赤い羽付寄付つき商品(竹炭セット・眼鏡ストラップ)注文販売	1回
千里コラボ	スイーツマグネット受注	1回
ブレデンシャル生命	マスク&メガネストラップ受注	1回
地域イベント出店	パン・自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャム、焼き芋など	ふれあい緑地フェス1回 豊中まつり2回 服部ハロウィン1回 さんあいイベント1回 ひまわり祭り1回 南部フェスティバル1回

今後も新たな事業展開を検討し生産販売活動の拡充を図り、利用者工賃の向上を目指します。

(4) 事業区分 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業

【事業名】 移動支援事業

【事業内容】 主に知的・発達障がいのある障がいのある人や子ども達の外出の際の付き添い、移動の支援を行ないます。また本人の力を引き出せるよう、移動時のお手伝い、余暇活動や自立に向けての支援を行うことで、利用者本人、保護者それぞれのニーズに合わせた、余暇活動や将来の社会参加をめざしてのサービス、また保護者のレスパイトケア(一時休息)的な役割も提供できるように実施します。

【実施場所】 豊中市、吹田市など

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 17,473,876 円【(3)アと(4)の合計】

(うち、(3)アの介護給付費 9,220,960 円)

【費用】 19,378,627 円【(3)アと(4)の合計】

【活動報告】 (3)ア及び(4)いずれも知的・発達障がいの当事者に対して、小さなうちから親亡き後の将来へそれぞれがめざす「自立」(または、自律)に向けての方向性等を余暇支援や成功体験を積み重ねて、その先にある『地域で生きる』『働く』社会参加をめざすことを意識して、居宅介護、重度訪問介護、(現在は利用契約なし)並びに移動支援を行ないました。

支援の中では、利用者様にとって先ずは「やってみた結果」成功体験から、自らの行動に自信を持ち、暮らしに楽しみや幸福感、充足感が持てるよう心がけました。

また第三者であるわたしたちヘルパー(家族外)との『信頼して託していただける』関係性を構築する、一つひとつのかかわり(ご縁)を大切に、その小さな積み重ねが将来にわたって繋がりがまた広がるものと思い活動をしました。

(5) 事業区分 児童福祉法に基づく障がい児通所支援事業

【事業名】 放課後等デイサービス事業

(マイ児童デイサービス、マイ児童デイサービスはっとり)

【事業内容】 本事業では、主に、知的・発達障がいのある子どもたち(小学校1年生から18歳)に対して、しっかりと個別支援計画に基づいて、一人ひとりの障がいと個性を見つめ、通所にて放課後等デイサービスの提供をしています。

マイ児童デイサービスが主に小学生の児童、マイ児童デイサービスはっとりが主に中学・高校の児童(生徒)を対象にしており、それぞれの年齢や環境に応じた課題を掲げニーズにあった支援を提供しています。

学齢期にある児童の発達を促し、将来を見据えた社会生活を送るために必要な力を身につけ、将来働くということで自信に繋がるよう、個別療育と集団の中で培うことの出来る週間プログラムによるグループ療育の2面で支援を行ないます。

保護者はもとより、子どもたちにも分かりやすい家庭でも取り組めるような『療育支援』のアドバイスなども行い、将来の自立(自律)へと促せるように寄り添う支援を心がけて事業を行っています。

また、毎年保護者評価並びに事業所自己評価を実施し、法人のホームページにその結果を公表しています。今後とも、日々業務の見直しを行い、「選んでいただけるサービス」の向上に取り組み、適正なサービスの提供に努めます。この機会をコミュニケーション図る絶好の機会と受け止め、積極的に

信頼関係を構築していきます。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 (そね)23,630,194 円 (はっとり)27,870,249 円

計 51,500,443 円

【費用】 (そね)26,748,744 円 (はっとり)24,669,536 円

計 51,418,280 円

【令和4年度 マイ児童デイサービス合同開催行事】

6月	保護者交流会(そね・はっとり、アプリコット・ジョブ・相談支援合同) 講演会テーマ「子どもとの関わり方、課題解決に向けて」 講師:豊中市児童発達支援センター所長 高 容康さん
10月	秋の遠足(そね・はっとり合同) 服部緑地・日本民家集落博物館

(ア) マイ児童デイサービス(曾根事業所)

【活動報告】 今年度もコロナ禍の中での活動となりましたが、生活動作を身に着けることが「自分を守ること、そして大切な人を守る」ことに繋がるということを念頭に置き、支援を行ないました。

また、感染対策に細心の注意を払いながら、出来るだけ自然の風や季節感を感じたり出来るような活動とともに、子どもたちが笑顔いっぱいの楽しい時間になるようにという思いと、一人ひとりの特性を考慮した内容を考えながら、集団プログラムと個別支援プログラムを進めて来ました。

集団プログラムでは日常生活をスムーズに行うための支援や遊びを通したコミュニケーション能力の向上、運動機能の向上、また、ハンドベルやジャンベを使ったり、体感を整えるダンス等、音とリズムを楽しむ音楽活動も充実させてきました。

個別支援プログラムでは子どもの特性を考えて、手作り教材を工夫したり、モンテッソーリの療育教材や、学習支援を主体とした内容の充実を図って来ました。

近年、放課後等デイサービスと学校との連携についての重要性和課題が指摘されており、国においても文科省と厚労省による、家庭と教育と福祉の連携「トライアングル」プロジェクトによる課題整理と今後取り組むべき方向性が出されました。

そのようなことから、信頼される事業所をめざして些細なことでも保護者との連絡を頻繁に取り、情報交換を密にしながら子どもの状況や課題についての共通理解を深めるとともに、子どもの在籍校との情報交換や課題共有をしながら、家庭、学校とデイとのトライアングル連携の大切さを再確認し「切れ目のない支援」、「生きていく上で必要な療育支援」を進めていきました。

《療育とは・・・》

心身の健康や生活に関する領域「健康・生活」、運動や感覚に関する領域「運動・感覚」、認知と行動に関する領域「認知・行動」、言語・コミュニケーションの獲得に関する領域「言語・コミュニケーション」人との関わりに関する領域「人間関係・社会性」の5領域にあたる、これらの領域の支援内容についてスタッフのスキルアップを図るもの。

【令和4年度利用者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
利用者数	168	171	186	166	172	186	191	205	158	157	166	182	2,108
利用日数	21	22	22	21	21	22	21	22	19	20	20	23	254

月平均利用者数 175.6 名

令和4年度 マイ児童デイサービス(曾根事業所) 週間プログラム(主な内容)	
4月	運動「キャタピラレース」 コミュニケーション「みんなともだち」「自己紹介」 「デイでの1日」「リミック」
5月	クラフト「家族&自分へのプレゼント」 運動「サーキット」 音楽「リズム遊び」 避難訓練「地震」
6月	認知「時間を守ろう」 健康「食育ゲーム お箸」 リミック「音楽サーキット」 クラフト「七夕飾り」
7月	クラフト「七夕かざり」 音楽「手作り楽器でリズム遊び」 運動「ボールを使って」「カプラ」
8月	レクリエーション「夏まつりを楽しもう」 制作「夏の思い出」 触覚「感触遊び」 防災「避難訓練」
9月	防災「避難訓練」 音楽「リズムを楽しもう」「十五夜、お月見、宇宙の日」 レクリエーション「自己紹介」 運動「サーキット」
10月	音楽「リズム遊び」 レクリエーション「秋祭り、収穫祭」 レクリエーション「ハロウィン」 読み聞かせ「絵本を楽しむ」
11月	クラフト「折り紙」 運動「ボール遊び」 クラフト「落ち葉のフロッタージュ」「カプラ」
12月	クラフト「クリスマスプレゼント作り」 運動「雪合戦」 クラフト「年賀状作り」 レクリエーション「クリスマス会」
1月	生活レクリエーション「初詣・お正月遊び」 レクリエーション「すごろく」 「カプラ」「節分・鬼のお面づくり」
2月	「節分・鬼のお面づくり」 音楽「リミック」 運動「サーキット」「カプラ」
3月	「ひな祭り」 クラフト「思い出の写真立て」 レクリエーション「卒業・進級お祝い会」 運動「サーキット」

(イ) マイ児童デイサービスはっとり(服部事業所)

【活動報告】 知的・発達障がいのある中学1年生から高校生3年生を対象とした放課後等
 デイサービスです。特徴的なそれぞれの利用者に対して、個々に対応した個別
 支援計画を作成し、日々の活動の中で掲げた計画を指導員数名の目でチェック
 し、「どうしたらできるか」を、グループとする療育と個別にする療育(自立課題)そ
 れぞれについて、各人の個別支援計画に基づき、毎日のプログラムと週間プログ
 ラムを変化させながら対応しました。

その中でも、プログラムの中でただ作業をするのではなく、「あいさつ」や「ハウ・レン・ソウ」を常に意識することで、「はたらく」=そば(ハタ)の人を楽(ラク)にすることを念頭において、行動出来るようにプログラムを工夫しました。また、身の回りのことが自分で出来るようになること、自分で出来ることを増やす支援も続けました。

今年度も、活動のすべてに新型コロナウイルスの影響があり、昨年度に続いて室内の換気、空気清浄機と加湿器の稼働、間隔を空けての座席配置、ビニールシートによるシールドの設置、手洗い、消毒、マスク着用、検温、三密を避ける誘導とハードとソフトの両面において、通所事業所として出来る対策を取っており、デイの活動を原因とする感染はありませんでしたが、同居家族からの感染する事例が相次ぎました。

引き続き令和5年度も状況に応じて保健所とも相談しながら感染予防に努めながら、コロナ規制の緩和とも調和した形で療育活動を続けます。

① 週間プログラムは、週ごとに、挨拶・自己紹介・履歴書の書き方・お金の理解・作業練習・クラフトなどの項目を、その季節にあった内容で作成し療育支援しました。例年、クッキングをプログラムの中に加えておりましたが、新型コロナウイルス感染防止を踏まえて今年度も実施は見送りました。

② 就労プログラムについては別途記載

③ 昨年度に続き、音楽療法プログラムを実施しています。主に、学校休業日の祝日に開催し、昨年度より1回増やし計8回実施しています。祝日は自宅で過ごす児童もおり利用が減ることも多いのですが、音楽療法の日は毎回多くの児童が利用しています。普段のプログラムの中では楽器を用いることは少ないので、児童も楽しく参加しています。珍しい世界の民族楽器に触れ、親しみ、達成感、自己肯定感の向上に繋げていきます。

【令和4年度 利用者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
利用者数	212	210	239	194	188	210	202	208	207	189	197	195	2,451
利用日数	22	23	23	22	21	23	22	22	21	21	21	24	265

月平均利用者数 204.3 名

令和4年度 マイ児童デイサービスはっとり 週間プログラム(主な内容)	
4月	「オリエンテーション」、マナー「自己紹介練習」、生活「手洗い練習、台拭き練習」、作業「作業練習」
5月	クラフト「5月のクラフト」、防災「避難訓練」、お金と数字「お金の理解」、苗植え「野菜の苗植え」
6月	清掃「清掃練習帯を使う」、マナー「挨拶練習実践編」、お金と数字「お金の理解」、マナー「自己紹介練習」、クラフト「七夕飾り」
7月	マナー「履歴書の書き方、名前の練習」、お金と数字「お金の練習」、作業「作業練習」、お金と数字「お金の練習」
8月	実習&作業「SEED 実習・作業練習」、お金と数字「お金の練習」、マナー「挨拶練習実践編」 並行して阪神友愛食品、大阪府庁、コープ東豊中で実習に参加
9月	作業「計量・計測練習」訓練「避難訓練」、クラフト「家族へのプレゼント」、作業「作業練習」、お金と数字「お金の練習」

10月	運動「散策」、作業「作業練習」、マナー「履歴書の書き方、名前の練習」、 お金と数字「お金の練習」、マナー「挨拶練習実践編」
11月	マナー「自己紹介練習」、お金と数字「お金の理解」、作業「作業練習」、 生活「手洗い練習、台拭き練習」
12月	クラブ「クリスマスプレゼントづくり」、作業「作業練習」、お金と数字「お金の練習」 クラブ「年賀状づくり、正月飾りづくり」、生活「大掃除」
1月	レクリエーション「正月遊び」、マナー「挨拶練習実践編」、お金と数字「お金の練習」 作業「作業練習」
2月	クラブ「アルバムづくり」、マナー「履歴書の書き方」、作業「作業練習」 お金と数字「お金の練習」
3月	レクリエーション「お別れ会」、マナー「自己紹介練習」、お金と数字「お金の練習」 作業「作業練習」など

(ウ)就労プログラム(服部事業所)

【活動報告】 知的・発達障がいのある中学生と高校生12名を対象に将来働くことを目指し、働くうえでのルールやコミュニケーション力、それに基本的な技能の習得を目標に、年間計12回のプログラムをしました。

昨年度に続き、公園みどり推進課の協力を頂き、ふれあい緑地の隣にある豊中市の敷地で草引きや整地をして、花の苗植えの実習作業に取組みました。また、コロナ禍が続く中でしたが今年こそはとこれまで実施していた特例子会社での職場体験実習、今年初めてのコープ東豊中店での実習を行いました。

他に作業練習や面接練習、調理実習を通して、メンバーそれぞれが経験を積み重ねて、やればできるという自信をつけることが出来たと思っています。

令和4年度 就労プログラム実施内容	
法人としてのビジョン	障がいがあっても社会参加は当たり前 みんなにやさしい共生社会の実現をめざして
重点目標	・働く意識の向上をめざします。 ・就労するにあたっての基本的な技能の習得をめざします。
課題	挨拶、コミュニケーション(報告・連絡・相談 ホウ・レン・ソウの実施) 聞くこと、尋ねることの重要性、集中力の習得、根気強さ、時間を守る など労働習慣と作業する力をつけます。
具体的な活動内容	自分の名前、生年月日、住所、保護者の名前などが言える・書ける、 挨拶が出来る(TPOに応じて、意味を理解して使い分ける。)、 自己紹介(臨機応変に対応できる。) 清掃をする(正しいやり方、要所を伝えてしっかりと取り組む。)
毎月の内容	今までの挨拶の練習、自己紹介カード、振り返りは継続して実施 身近な実習先から実際の職場体験をする 【実習先】 ・大阪府庁公館 2名参加 ・阪神友愛食品(株) 7名参加 ・生活協同組合コープこうべ東豊中店 2名参加 ・豊中市環境部公園みどり推進課 SEED 全員参加 人との関わり、清掃作業、苗植え作業などを体験する。

令和4年度 就労プログラム年間実施状況	
4/9(土)	身だしなみ、ビジネスマナーについて学ぼう 働くということとは？ 作業実習 6種類の作業チェック① オリエンテーション、ルール確認、年間スケジュール、振り返りシートや 出勤記録の説明、自己紹介
5/14(土)	作業練習、面接練習
6/11(土)	花の苗植え練習、クラフト作業(SEED 実習は雨天中止)
7/16(土)	宿泊体験の準備作業 指示を聞いて自己判断で行動しない。 数量確認、名札づくり、備品準備など
8/1(月) ～8/3(水)	【職場体験実習】生活協同組合コープこうべ東豊中店 2名参加 商品陳列、賞味期限管理、管理日数点検作業
8/8(月) ～8/12(金)	【職場体験実習】阪神友愛食品(株) 7名参加 リーフレット袋詰め作業、椎茸の軸切り作業
8/22(月) ～8/26(金)	【職場体験実習】大阪府庁庁舎管理課守衛室 2名参加 守衛コース
9/10(土)	体験実習 SEED 清掃作業
10/8(土)	体験実習 SEED 草引き・花のカット切り作業、 豊中市スポーツ振興事業団 清掃作業
11/5(土)	イベント 看板作り、名札作り、備品の準備など ねらい:13 日開催の「さんあいイベント」のためのイベントの準備や 当日の司会補助、当日までの準備調整など
12/10(土)	クリスマスカードの作成、その他 ねらい:人のために仕事をすることの喜びを感じる。みんなで協力してやり遂げ ることで、達成感を得て自信につなげる。また、感謝される喜びを実感 する。 職場体験実習 阪神友愛食品(株) ※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
1/14(土)	作業実習 6種類の作業チェック 面接練習 2月の昼食作りのための話し合い ねらい:3つのグループに分かれて昼食の献立を立てる。 みんなで考えて実際に買い物に行き(@600円×人数分)、 料理を作って、みんなで楽しく食べ、片付けもする。 計画性、協調性を養う。
2/18(土)	【調理実習】中央公民館調理室にて開催 チーム別調理実習、 ねらい:計画を立て、考えた献立を実際に作って食べよう。協調性を養おう。
3/11(土)	まとめ、発表、みんなで卒業生を囲んで、記念撮影 ねらい:1年を振り返って、様々なプログラムの中でそれぞれのメンバーの 良かったことなどを称賛しながら、皆勤者、また卒業生を労い(花束 贈呈)、来年度への士気を高める。

令和4年度 就労プログラム 一日の流れ 【基本パターン】	
13:00	手洗い、消毒、うがい、検温、保護者からの聞き取り(健康状態など) 連絡帳提出、出勤簿記入、トイレなど

13:10	挨拶ことば、自己紹介
14:00	その日のプログラム①
15:00	おやつタイム・休憩(コロナ禍で中止)
15:10	トイレに行くなど 時間の意識(時計を見る、時間配分)
15:15	その日のプログラム②
16:15	清掃作業
16:30	1日の振り返り 感想(書いて発表)
16:50	終了 挨拶、出勤簿記入
17:00	お帰り その日の様子を保護者に伝える

(6) 事業区分 障がい者の自立と就労参加を実現するための仕事づくり支援事業

【事業名】 障がい者の就労・職域開発事業

【事業内容】 毎日コンスタントに障がいのある者が6時間働き続けられる環境づくり、仕事づくり、その他関連する管理業務などを推進し、障がいのある人たちに出来るお仕事を探求しています。

障がいのある人たちは働けないのではなく、『どうせ、出来ない。』との周囲の偏見から働くことを諦めてしまうことが多くあります。

しかしながら、実際に支援を受けながらも、働き・体験値を積むことで、意識が変わる場合も多々経験してきました。そのような、働き方、また就業環境を広く知ってもらいたいという意味を込めて、障がい者の就労・職域開発事業を推進する役割を果たしていきます。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【活動報告】 『障がいがあっても社会参加は当たり前～支援があれば働ける～』という、ハニー・ビーの理念のもと、障がい者と健常者が共に同じ職場で継続的に働き続けられる事業所を開設し、障がい者及び障がい者を支える人たちを採用し、一人ひとりの特性を活かした就労に繋がる育成をしてきました。

令和4年3月末日現在、事務職員として 1名の障がいのある職員が継続して就労されています。

ハニー・ビーでは、障がいのある職員と支援する職員の就労環境を検証しながら、今後も事業を支える人財(人は財だから)との意識を持って障がい者に対し、就労の機会の提供に努め、人材育成の職場環境の整備に一層努めてまいります。

(7) 事業区分 障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業

(8) 事業区分 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

(9) 事業区分 児童福祉法に基づく障がい児相談支援事業

【事業名】 相談支援センター ハニー・ビー

【事業内容】 これらの事業では、主に知的・発達障がいのある人を対象に、利用者の意思及び人格を尊重して、子ども達の将来に関わる相談に応じ、常に利用者の立場に立った適切な計画を立てていきます。当事者や家族と共に相談をしながら、「どのような暮らしがしたいのか」「そのためにはどのようなサービスが必要か」などについて、福祉・医療・教育・仕事・住まいなどの総合的な視点から一人ひとりにあった支援計画を作成します。また、障がいのある人が自立した日常生活・社会生活を送る

ために共に考え支援をしていきます。

【実施場所】 豊中市

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】障がい児・障がい者・ご家族等

【収益】 14,767,181 円

【費用】 5,315,789 円

【活動報告】 今年度もコロナ禍ではありましたが、「実際にお逢いして話をする機会」が大切だと思い、対面したいとおっしゃる方々とは面談する機会を持って対応しました。障がいのある人たち、特に障がい児に特化したサービスの提供を大切に、「学校・地域連携をめざして」知的・発達障がいのある人や子ども達の将来に関わる相談に関しては、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立った適切な計画を相談、寄り添う支援を心がけて、支援計画を立てていきました。

ただ、「やったことがないから、無理。」という場面では、本人の特性も理解しつつ、「どうやったらできるだろう。」の方策を考え、課題の認識、丁寧な説明をして実際に「やってみたい！」になるまでには、根気強くお伝えし理解をいただき、進めていきました。時間はかかりますが、熱意を持って利用者の将来の自立した姿を思い描きながら、利用者本人や家族の思いやお話を傾聴し、利用者さん自身が「これから、どのような暮らしがしたいのか」生活自体の彩りを持てるように、そこが少しでも『光明が見えてくる』ような、利用者とその家族に寄り添った相談を心がけました。

実際に、様々な利用者さんがおられ、本当の思いを聞くまでに相当な時間を要しての根気強い関わりが必要な相談も多かった様に思います。特に今年度は学校を取り巻く環境での相談が多かったです。

(10)事業区分 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【収益】 1,131,510 円（受取会費 704,000 円含む。）

【費用】 281,999 円

(ア)【事業名】 自立と就労参加を実現するための情報発信事業

【事業内容】 ハニー・ビーの理念である障がい者の自立・就労の意義』を普及するためのネットワークを構築するべく、豊中市をはじめ周辺自治体を含め啓発・広報活動を実施します。

【実施場所】 豊中市内、大阪市内、周辺自治体

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】障害福祉事業所、企業、行政機関、地域団体、NPO など

【活動報告】 ハニー・ビーでは、様々な事業を展開する豊中市等の行政機関をはじめ各事業所と協力連携関係を深めながらネットワークを構築する中で、実際に問題解決を図ることに努めてきました。今後も、理事長だけでなく理事、スタッフなど様々な人材(人財)がハニー・ビーの代表者となってミツバチのように色々なところへと媒介していく機会を作るように取り組みました。

(イ)【事業名】 通信発行事業

【事業内容】 ハニー・ビーの活動報告や情報を盛り込んだ『ハニー・ビー通信』を定期的に発行することにより、さらなる啓発・広報活動を実施します。

【実施場所】 支援学校、豊中市立小学校、中学校、行政機関など

【実施日時】 通年毎月

【事業の対象者】 知的障がいのある当事者と保護者、企業、教育、行政機関、市民など

【活動報告】 今年度は、ハニー・ビー通信第160号から170号まで(合併号を含む)発行しました。沢山の皆さんと出逢い、お話をさせていただく事で、ハニー・ビーの活動を知っていただくことが出来たと喜んでおります。その中で、法人設立前からお付き合いをいただいている方や、今は顔をあわせる機会が少ない方々にも、月に一度は送らせていただくことによって、『相変わらず元気だな。』『また、何かあったらお手伝いするよ。』とのメッセージをいただき、本当に嬉しい限りです。これからも継続は力なり、皆さんとの繋がりを大切に近況報告をお伝えしつつ、元気をお届けしました。

(ウ)【事業名】 職員研修事業

【事業内容】 ハニー・ビーでは、当法人の運営理念を全職員が認識し「選ばれるサービス」を目指し、知識と技能を兼ね備えた業務遂行能力の向上を図るため、毎年「職員研修実施方針」を定め、すべての職員を対象に研修を実施します。

【実施場所】 当法人事業所等

【実施日時】 基本毎月

【事業の対象者】 当法人職員、その他必要と認める関係者

【活動報告】 令和4年度(2022年度)も、「職員研修実施方針」に従い、運営理念、事業関連、安全管理等の研修の実施を計画し、コロナ禍の影響がありましたが、感染防止対策を講じながら実施しました。

2022年度1回目の研修として、全体会議の中で理事長からの「ハニー・ビーの理念と基本方針」について時間をいただきました。その中で、「ハニー・ビーを皆さんと一緒に盛り立てていきたい、誇りをもって働いていただきたい」と職員の皆さんに、共に障がいのある方々の支援を行なうものとしてお願いしたいこと、共に歩んでいただきたい気持ちを込めてお伝えしました。

その後の研修に関しても、人権研修、虐待防止研修、発達に課題がある子どもたちへの支援、普通救命講習等様々な講師の方にお越しいただき研鑽できたものと思っています。

IV 社員総会の開催状況

第13回通常総会

(日 時) 令和4年6月23日(木)19時から20時

(場 所) 豊中市本町6丁目 8-1 金岡ビル2F 多目的室

(出席者数) 19名(うち委任状出席者13名)【社員総数 21名】

(内 容) 第1号議案 令和3年度事業報告承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第2号議案 令和3年度決算承認並びに監査報告の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第3号議案 監事の選任の件

審議の結果、全員一致で可決承認

報告事項

令和4年度事業計画並びに予算について

令和4年度・令和5年度役員について

V 理事会その他の役員会の開催状況

(理事会は、注釈無しの場合は豊中市本町6丁目8-1金岡ビル2階 理事長室にて開催)

	開催日・出席理事数	決議事項・報告内容等
第1回理事会	令和4年4月28日(木) 4名	決議事項 ・第13回定時総会の開催日程について ・夏季一時金(処遇改善加算)支給について ・処遇改善特例交付金について ・令和4年度給与引き上げについて ・令和4年度理事選任と理事会について 報告事項 ・3月の活動状況と年度振返りについて ・今年度の助成金申請について ・令和3年度計算書類(仮決算状況)
第2回理事会	令和4年5月26日(木) 4名	決議事項 ・第13回定時総会の開催について ・令和3年度事業報告及び決算書類の総会提出(総会議案)について ・6月一時金支給について 報告事項 ・4月の活動状況について
第3回理事会	令和4年6月23日(木) 5名	決議事項 ・理事全員の任期満了に伴う改選の件 ・監事の任期満了に伴う監事候補者の提案の件 ・2022年度事業計画並びに2022年度活動予算について(第13回総会報告事項) ・今後の豊中市への報告について ・理事の役割分担体制について 報告内容 ・5月の活動状況について
第4回理事会	令和4年7月27日(水) 4名	決議事項 ・勤怠管理システムの導入について ・アルコールチェッカーの導入について ・法改正に伴う各種規程の整備について 報告事項 ・2022年度第一四半期の活動状況について ・6月の活動状況について ・助成事業の進捗状況など
第5回理事会	令和4年8月24日(水) 4名	決議事項 ・処遇改善ベースアップ加算について ・就業規則に関わる助成金申請について ・各事業所の今後を見据えた職員体制について 報告事項 ・7月の活動状況について ・正規従業員の給与引き上げについて
第6回理事会	令和4年9月28日(水) 3名	決議事項 ・第11回さんあいイベントについて ・就業規則(定年)について ・令和4年度中間決算を見越して 報告事項 ・8月の活動状況について ・助成金の進捗状況と来年度の申請について ・特別休暇給付金について
第7回理事会	令和3年10月26日(水) 4名	決議事項 ・就業規則・賃金規程の変更について ・さんあいイベント開催について

		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度賞与について ・下半期の方向性について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・9月及び上半期の活動状況について ・令和4年度中間決算について ・来年度の助成金申請について ・マイ児童デイサービスの実地指導の結果について
第8回理事会	令和3年11月30日(木) 5名	決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年12月一時金の支給について ・就業規則・賃金規程の変更について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・10月の活動状況について ・マイ児童デイサービスの職員体制について ・令和4年度の助成金申請について ・さんあいイベント開催結果について
第9回理事会	令和4年12月21日(水) 3名	決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・求人募集について ・面談を踏まえての対応について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・11月の活動状況について ・マイ児童デイサービスの職員体制について ・令和4年度12月以降の財務状況予想について
第10回理事会	令和5年1月25日(水) 3名	決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・マイ児童デイサービスの職員体制について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・12月の活動状況について ・令和4年度12月度期の財務状況について
第11回理事会	令和5年2月22日(水) 4名	決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・社労士顧問の契約について ・職員のスキルアップ及び意欲向上に向けての取り組みについて(評価等) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・1月の活動状況について ・マイ児童デイサービスの職員体制について ・新規採用(募集状況)について ・来年度の助成金申請と自主事業について ・育児休業助成金未申請の内容について ・令和4年度1月度期財務状況と次年度総会に向けての決算予想について
第12回理事会	令和5年3月22日(水) 3名	決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・長期継続勤務職員の給与引き上げについて ・第13回定時総会の開催日程について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・2月の活動状況について ・令和4年度2月度期の財務状況について ・来年度の助成金申請と自主事業について ・令和5年度の職員研修について ・各種保険の更新について ・各部署の人員体制について ・社労士顧問の契約について